専門教育科目　講義科目

科目名：	心理療法	科目コード	EJ80
		単位	2
科目主査：	末﨑 裕康	担当講師：	高桑 将太、田中 慎太郎、末﨑 裕康、森川 友晴
		配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

心理療法にはさまざまな流派があり、それぞれの理論的背景から成り立っています。この授業では、テキストに記載の流派のうち特に重要な流派について、リポート学習で得た知識を補完し、実際に体験することを目的とします。具体的には、ワークシートやロールプレイ、ケーススタディなどを取り入れながら、治療的変化をもたらすために必要なセラピストの態度や、各流派に代表的な技術を身につけます。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	特になし	
テキスト	『やさしく学べる心理療法の基礎』 窪内 節子 ・ 吉武 光世，培風館，最新版	

この科目の 到達目標	①心理療法に関する基本的専門用語の意味を理解し、説明できるようになります。 ②心理療法の理論を理解し、人間の行動や現象について、心理療法の専門用語を適切に用いて考察できるようになります。
成績評価 の 方 法	実習が中心の授業なので、授業に取り組む姿勢を重視して評価します。また、授業前後の皆さんの自己理解がどのように変化したのかについて論述試験を課し、変化自体のとらえ方について評価します。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	心理療法を学ぶ上で、自分自身の経験・思考・価値観等を客観的に把握する作業が必要です。その方法は様々ありますが、心理療法を実践する上では他者との対話が基礎となります。他者との対話を通して自分自身を客観的に把握するよう心掛けてください。
事後学習の 参考文献	『心理療法ハンドブック』乾 吉佑 他（編），創元社，2005年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑クレヨン（1日目）※本学で貸与しますが、持参も可能です。
☑受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面　☑学生証